

冊 図書館だより


読書月間
特別号第1弾

期末考査も終りほっと一息の今日この頃ですが、図書委員会から読書月間企画第1弾をお届けします。企画最初は、フレッシュな1年生と中堅2年生図書委員からの推薦本39冊です。あなたの気に入る本はあるかな？




1-1 穂積 直樹
『真夏の方程式』
東野 圭吾著

この本は、数々の事件を「物理」の力で解決してきた物理学者湯川学が、海の町で起きた怪死事件の謎を解明する物語です。推理小説が好きな人なら、誰もが楽しめる内容です。




1-1 高島 和華奈
『ホーンテッド・キャンパス』
櫛木 理宇著

大学1年の八神森司は、霊が視える体質。オカルト研究会に属しているが、実はかなりの怖がりや。そんな彼は同じ会の霊にとりつかれやすい灘こよみに片思い中。オカルトミステリーと恋愛の掛け合わせに今までにないワクワク感があります。




1-2 瀧 友輔
『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』
太田 紫織著

お洒落で不気味なお屋敷に住むお嬢様、九条櫻子は無類の骨好き。標本土である彼女は、行く先々で死体に惹かれる。彼女が亡骸から聞き取る真実は・・・？ 普段知ることのできない解剖学や犯罪心理などを垣間見ることが出来ます。




1-2 峯岸 結香
『密室から黒猫を取り出す方法』
北山 猛邦著

完璧な計画だった・・・あの黒猫さえいなければ。犯行計画を大きく揺るがす密室の中の黒猫。自ら作り出した密室から黒猫を取り出せない犯人は？ 気弱な名探偵と楽観的な推理作家が5つの謎に挑みます。



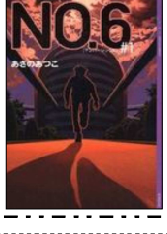
1-3 箱崎 光
『虹色ほたる～永遠の夏休み』
川口 雅幸著

父を亡くしたユウタは、父との思い出の場所・ダム付近へ昆虫採集に出かける。だが、その帰りに崖に落ちてしまった。目が覚めると目の前には・・・。少年時代の夏休みを描いた作品。読む度に懐かしい思い出が蘇ります。




1-3 滝澤 空也
『No. 6 全9巻』
あさのあつこ著

「No. 6」と呼ばれる理想都市から元エリート紫苑と犯罪者のネズミが逃げ出した。紫苑は冤罪を晴らすため、ネズミは「No. 6」に復讐するため。2人の未来に救いはあるのか。彼らの行動から隠れた心情を読み取って欲しい。




1-4 齊藤 勇造
『京大芸人』
菅 広文著

お笑い芸人「ロザン」の物語。宇治原の合格大作戦を相方の菅が描いています。京都大学に現役合格した宇治原独自の勉強法も書かれているので、物語としてだけでなく勉強法の本としても楽しめます。




1-4 石上 桃穂
『図書館戦争』
有川 浩著

2019年、「メディア良化法」という行き過ぎた検閲からすべての図書を守ろうと図書隊に入隊した笠原郁が、仲間とともに奮闘する物語。笠原郁の成長、恋などが引き込まれる作品です。



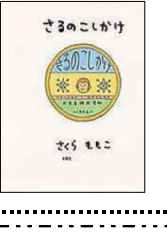
1-5 田尻 湧紀
『魔法使いは完全犯罪の夢を見るか？』
東川 篤哉著

八王子署に勤めるDMの小山田刑事は、とある事件で「マリィ」と名乗る魔法少女に出会う。マリィの魔法に助けられながら、次々と事件を解決していく。事件とは別に、マリィと小山田のやりとりと人間関係に注目！




1-5 小橋 華絵
『さるのこしかけ』
さくらももこ著

さくらももこさんの幼少期からのエピソードが、面白く書いてあります。イラストもたくさんあり、見ただけで楽しめる内容です。「もものかんづめ」「たいのおかしら」とシリーズ化しているのでそちらもどうぞ。




1-6 滑川 弘樹
『リアル鬼ごっこ』
山田 悠介著

西暦3000年、国王は「鬼」を使って突然佐藤姓の者を大量虐殺し始めた。主人公の佐藤翼の前で殺されていく両親や友・・・幼いころ生き別れた妹を探すため疾走する翼は生き残れるのか。苗字が佐藤姓の人や、妹と仲がいい人は共感できる部分があるかも。




1-6 石 尚大
『キミノ名ヲ。全5巻』
梅谷 百著

平凡な女子高生千鶴子は、鶴ヶ岡八幡宮付近の神社の鳥居で不思議な声に呼ばれ、鎌倉時代にタイムスリップしてしまう。現代に帰りたいと望む千鶴子だが・・・。護良親王とのラブストーリーが読んでいて楽しいです。




1-7 小鷹 聖也
『ハリー・ポッターとアスカバン』
J・K・ローリング著

13歳になったハリーに恐ろしい事件が降りかかる。脱獄不可能のアスカバンから脱走した囚人がハリーの命を狙っているという。果たしてハリーの運命は！？ ハリーがはじめて名付け親と出会う物語です。ぜひ読んでみてください。




1-7 阿部 凌也
『走れメロス』
太宰 治著

処刑されるのを承知の上で、友情のために戻ったメロスが、人の心を信じられない王に、信頼することの尊さを悟らせた物語。教科書で何度も読んでいる作品。



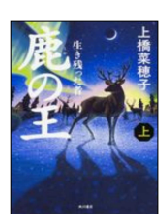
1-8 大槻 明史
『さくら～原発被災地のこされた犬たち』
馬場 国敏著

すぐに帰れると思っていた家族。飼い主が必ず戻ってくると待っていた犬たち。当たり前だった毎日が、当たり前でなくなったあの日から生きるために歩き出した原発被災地に残された犬達の物語。災害はいつ起こるかわからない。いつも真剣に生きることが大切だと知らされる本。




1-8 田所 周大
『鹿の王 全2巻』
上橋 菜穂子著

強大な帝国・東平瑠にのまれていく故郷を守るため、絶望的な闘いを繰り返す戦士団。その頭であるヴァンは囚われていたが、謎の病に混乱する岩塩鉱から隙をみて逃げ出す途中に幼い少女を拾う。ヴァン父子と、謎の病と闘う医師に待ち受ける過酷な運命の冒険小説。奇想天外な展開にハラハラ間違いなし。




1-9 近藤 匠
『サマーウォーズ』
細田 守著

小磯健二は、憧れの先輩・篠原夏希に「4日間だけフィアンセの振りをして！」と頼まれ長野の彼女の田舎に同行することになったが・・・。世界が一変した後家族の絆やみんなの団結力、友情が素晴らしいのでぜひ読んでほしい。




1-9 神長 碧人
『名探偵の掟』
東野 圭吾著

完全密室、時刻表トリック、バラバラ死体に童謡殺人。12の難事件に挑む名探偵・天下一大五郎。すべてのトリックを鮮やかに解き明かした名探偵がたどりついた「ミステリー界の謎」とは？ ミステリーの楽しさを知りたい人にオススメです。



1-10 大場 裕公
『図書館戦争』
有川 浩著

検閲の厳しい未来の国法から、図書館の自由を守るために立ち上がる「図書隊」に入隊した主人公が、仲間たちとの絆を深め協力し、活躍する小説です。大切なものを守ろうとする主人公・笠原郁たちの姿に心被打れます。



1-10 菊田 颯人
『勝つための栄養食BOOK』
川端 理香著

瞬発力UP、集中力UP、骨折、肉離れ、食欲不振・・・。目的別コンビニ食の摂り方をズバリ解説。アテネ五輪をサポートしたチーフ管理栄養士が、栄養食を徹底指導！コンビニ弁当でもきちんと栄養が摂れる。

